

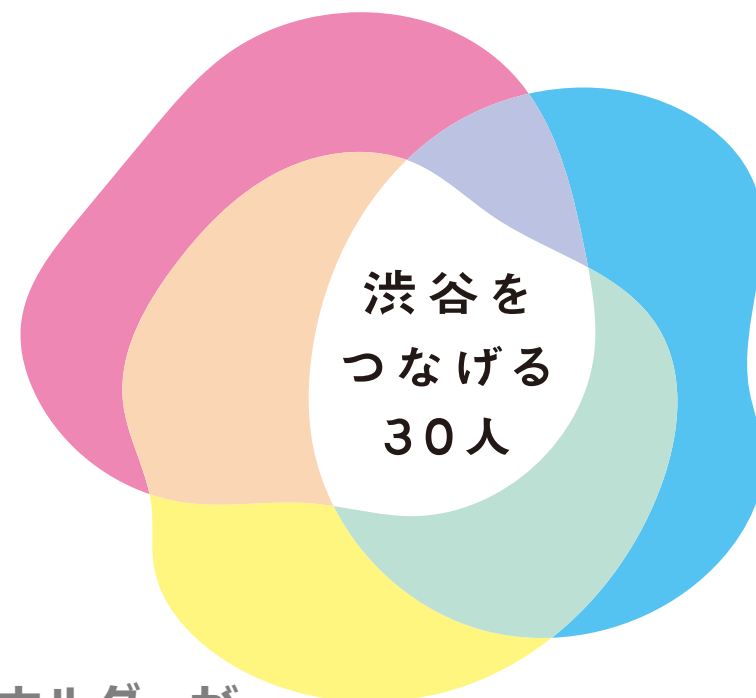
渋谷をつなげる30人

第6期(2021年度)

渋谷発ソーシャルイノベーションを
東京・世界へ

地域のまちづくりのプレイヤーとして丁寧に選んだ
市民・企業・行政・NPOからの30人のマルチステークホルダーが
約半年のプログラムで地域イノベーションを協働するプログラムです。

主催：Slow Innovation株式会社 協賛：渋谷区（予定）



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

イノベーションのこれから：FastからSlowへ

	<i>Fast Innovation</i>	▶ <i>Slow Innovation</i>
イノベーションの始まり	顧客ニーズの発見	社会課題の発見
アプローチ	解決策の適用	関係性の再構築
ターゲット	市場（マーケット）	地域（ローカル）
ステークホルダー	意思決定者に絞る	すべての関係者に広げる
ビジネスモデル	クローズド・バリューチェーン	オープンサービス・プラットフォーム
成功要因	競合との差別化	価値への共感
成功の定義	市場での成功 （短期的成功）	地域の課題解決 （長期的成功）

Slow Innovationの時代

地域がイノベーションの 最先端フィールドになる

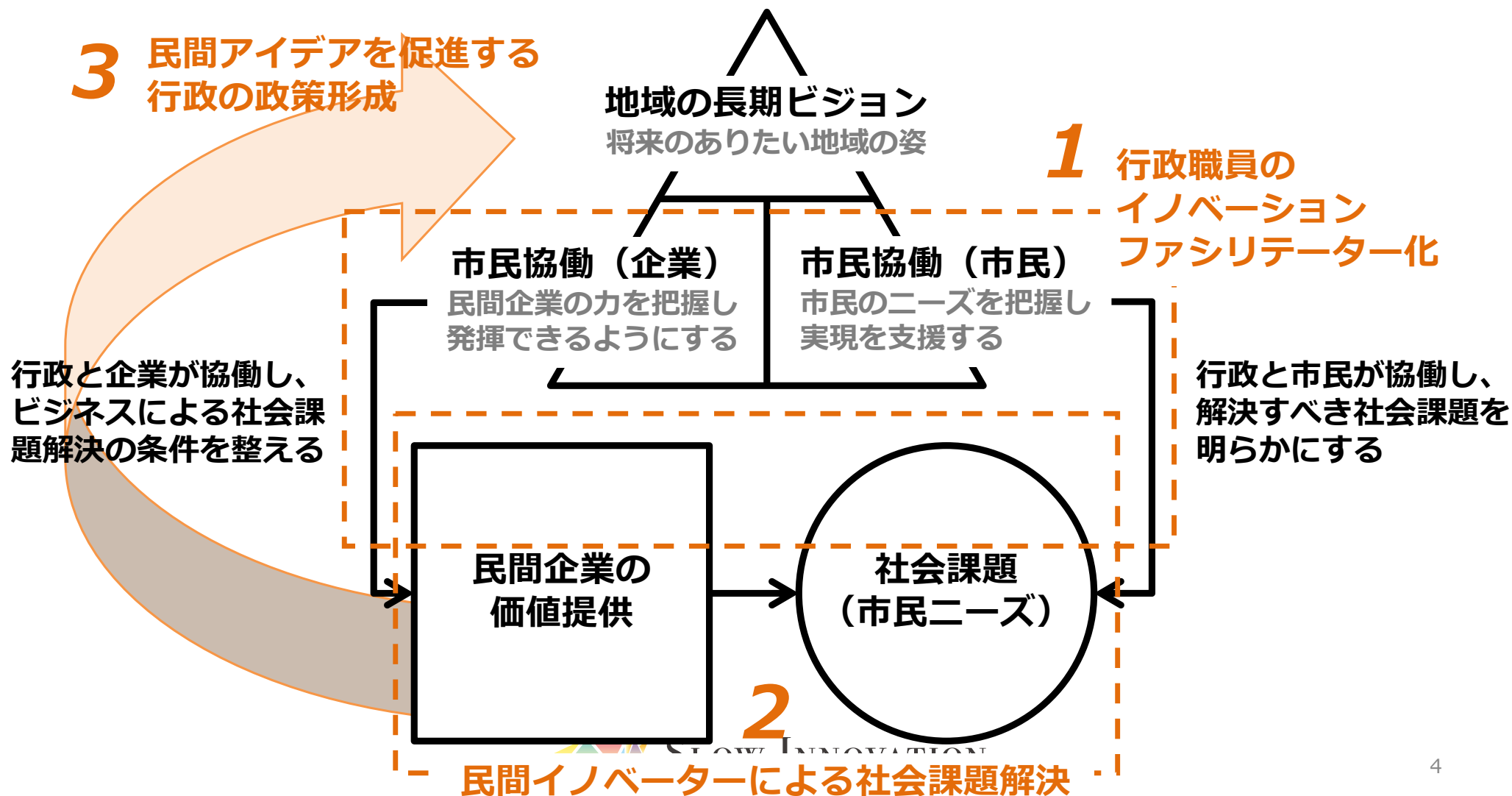
市民協働イノベーションエコシステム

- 自治体は、イノベーションのリーダーシップをとる
- 市民は、社会課題発見のパートナーになる
- 大企業は、最先端の社会課題をもつ地域で、イノベーションのサービスプラットフォームづくりに取り組む
- 地域企業は、持続的な課題解決の担い手となる



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

市民協働イノベーションエコシステム



つなげる30人 (Project30) の広がり

海外

- ・ ヴィンタートウル30 (スイス)
(2021-)
- ・ 世界中の各都市にProject30を広げるため、
国際NGO Project30の立上げ準備 (スイス)
(2021-)

長野をつなげる30人 (2021-)

敦賀をつなげる30人 (2021-)

京都をつなげる30人 (2019-)

ひろしまをつなげる30人 (2021-)

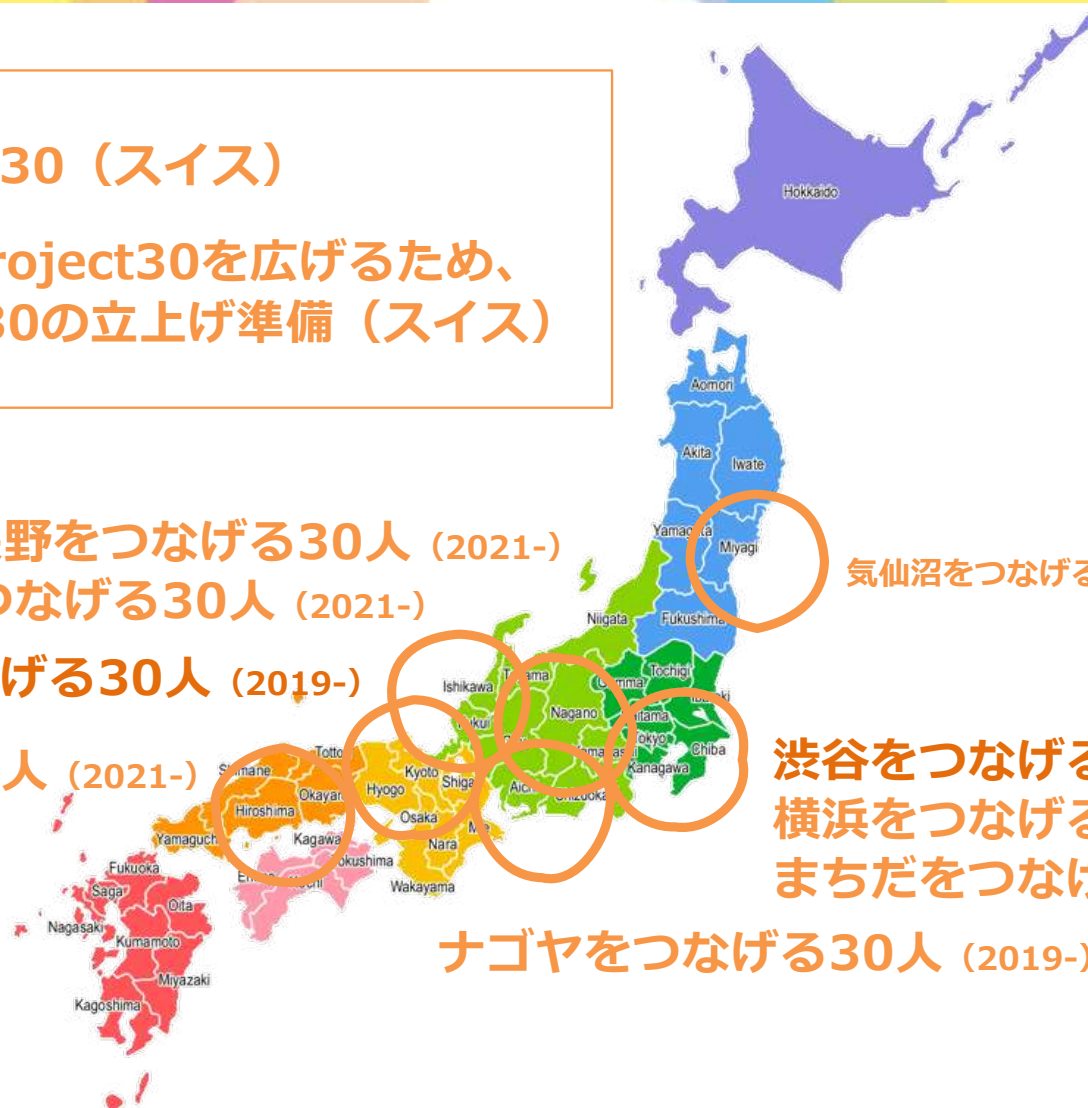
気仙沼をつなげる30人 (2019)

渋谷をつなげる30人 (2016- 今年度は第6期)

横浜をつなげる30人 (2020-)

まちだをつなげる30人 (2020-)

ナゴヤをつなげる30人 (2019-)



SLOW INNOVATION

Changing systems step by step

つなげる30人（Project30）とは

地域のまちづくりのプレイヤーとして丁寧に選んだ、
市民・企業・行政・NPO/大学からの30人のマルチステークホルダーが、
半年から1年間のプログラムで地域イノベーションを協働する仕組み

私たちがめざすこと

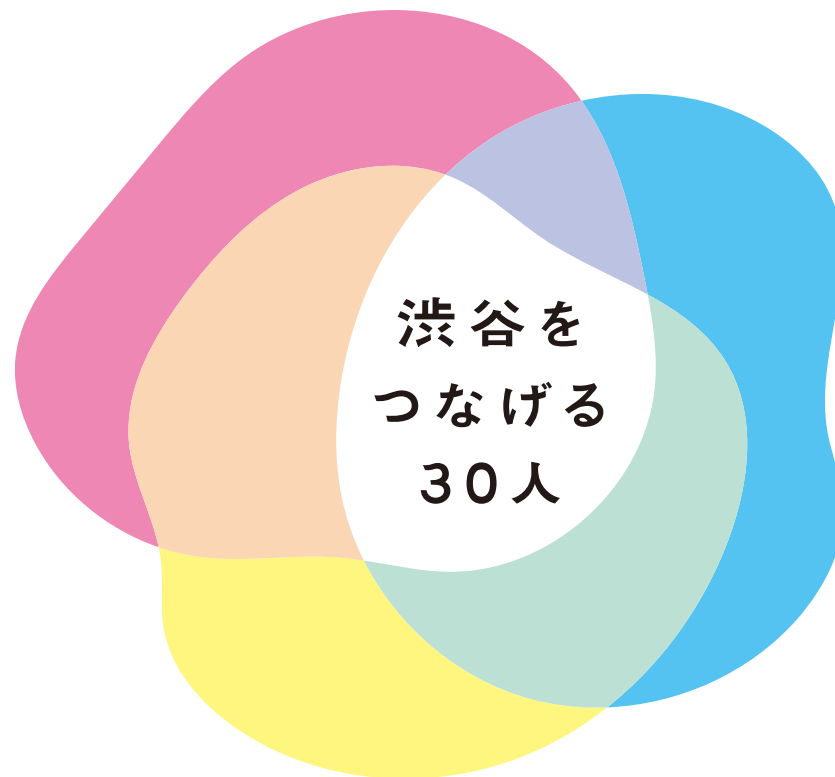
行政・企業・NPOのそれぞれの力を活かし、
社会的つながりを強くすることで
本質的な社会変容を起こすこと

私たちの信じること

志高き多様性ある30人が集まれば、
都市を変えることができる



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step



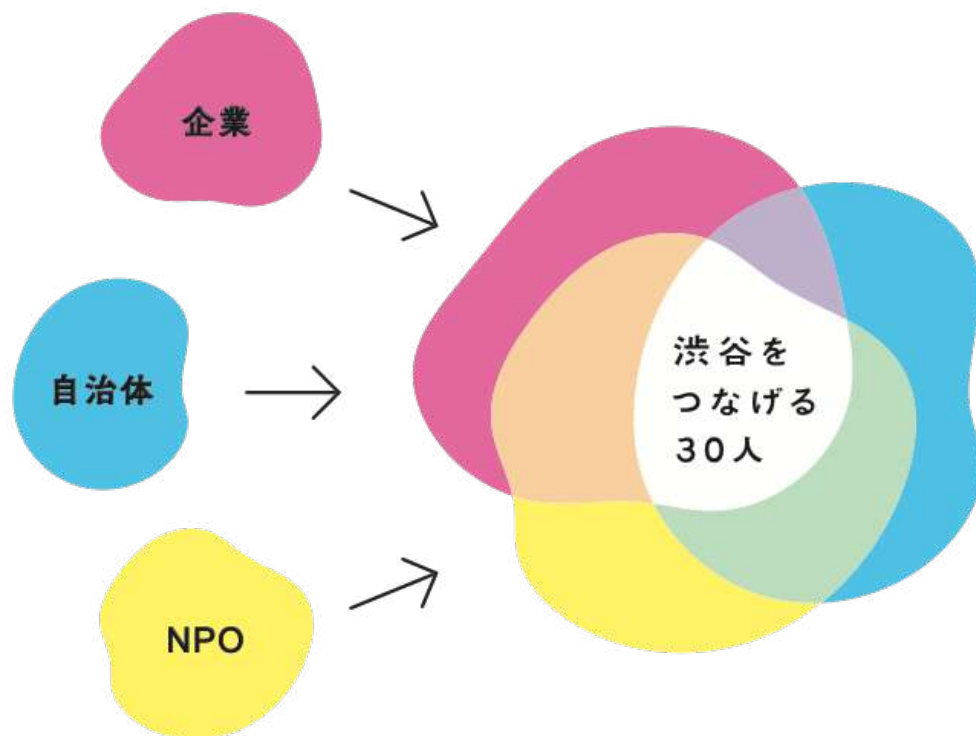
SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

渋谷区基本構想をセクター横断で実現する 「市民協働イノベーションエコシステム」をつくる

● 渋谷区基本構想

ちがいを ちからに 変える街。渋谷区

- A 子育て・教育・生涯学習
 - それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。
- B 福祉
 - あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。
- C 健康・スポーツ
 - 思わず身体を動かしたくなる街へ。
- D 防災・安全・環境・エネルギー
 - 人のつながりと意識が未来を守る街へ。
- E 空間とコミュニティのデザイン
 - 愛せる場所と仲間を、誰もがもてる街へ。
- F 文化・エンタテインメント
 - あらたな文化を生みつづける街へ。
- G 産業振興
 - ビジネスの冒険に満ちた街へ。



SLOW INNOVATION

Changing systems step by step

30人というマジックナンバー

渋谷区のまちづくり
のプレイヤーとして
丁寧に選んだ、
30人のマルチ
ステークホルダー

信頼のつながりを作れる最大数
かつ
多様性を確保できる最小数



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

主な過去の参加企業(各期五十音順／一部抜粋)

1期	NTT都市開発, CAMPFIRE, キューピー, 京王電鉄, コクヨ, セコム, 東急不動産, 日本マイクロソフト, ボッシュ, ビームス
2期	NTT都市開発, 京王電鉄, 東急不動産, 東京ガス, パルコ, フロンティアインターナショナル, ボッシュ, みずほ銀行, みずほ情報総研, ラフォーレ原宿
3期	アダストリア, Airbnb Japan, グーグル, 京王電鉄, サッポロ不動産開発, サニーサイドアップ, TSUTAYA, 東急不動産, ナイキジャパングループ, ビームス, ボッシュ, みずほ銀行
4期	Uber Japan, NTTドコモ, 京王電鉄, サッポロ不動産開発, TSUTAYA, 東急不動産, パーソルテクノロジースタッフ, ビームス, ベイクルーズ, ボッシュ
5期	サッポロ不動産開発, ZENKIGEN, 蔦屋書店, 東急不動産, ニッシリ, FUSION, PLAYNEW (Tokyo City FC), ホーン, みずほ銀行, ランドアーツ,

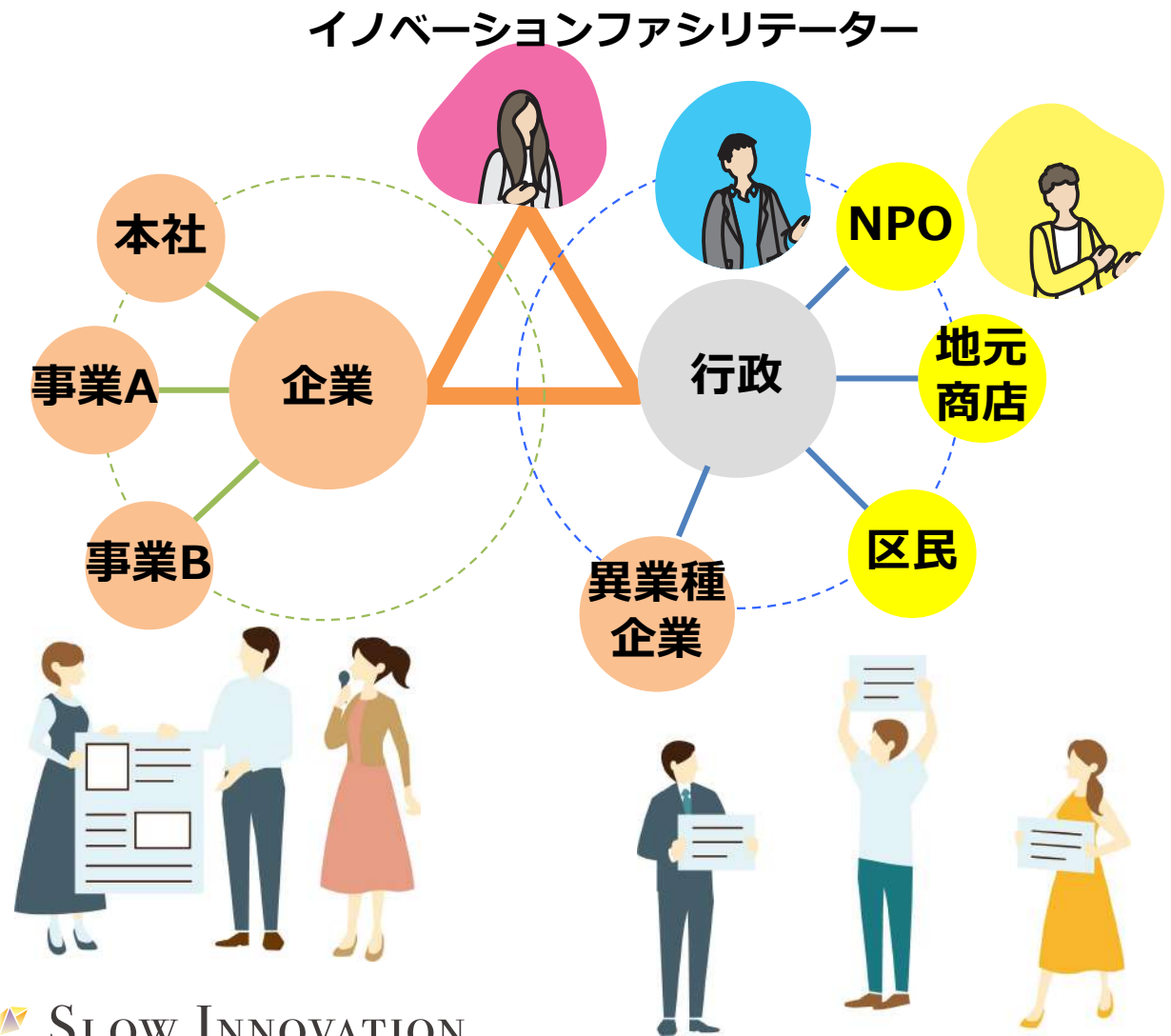


SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

つながりを生み出す仕掛け

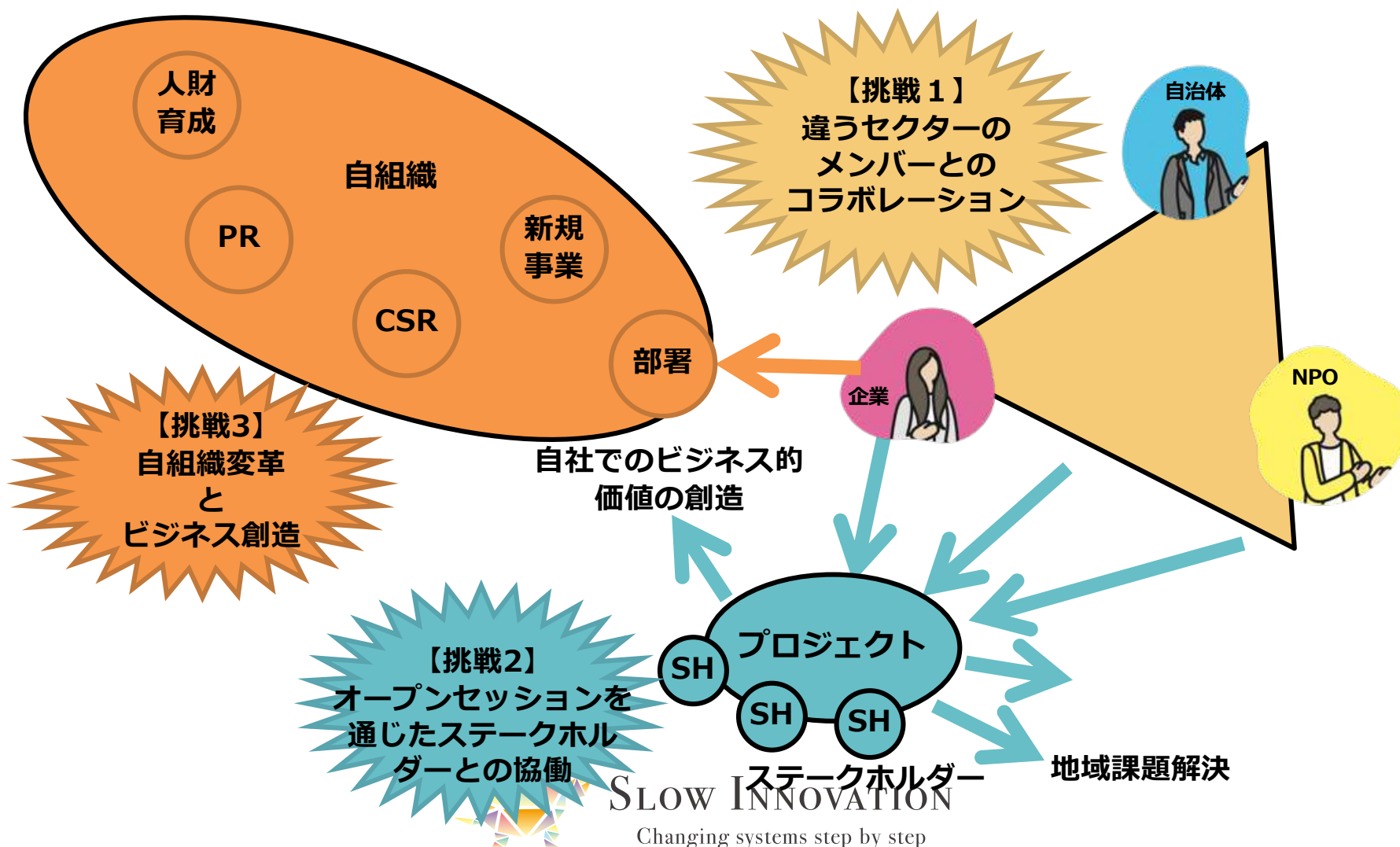
企業、行政、NPO
のそれぞれに、
イノベーション
ファシリテーターが
育ち連携する

イノベーション
ファシリテーターの役割
新たな「問い」を生み出し
ステークホルダーを招き入れ
新たな解決策を実現に導く



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

30人それぞれが体験する、3つの挑戦

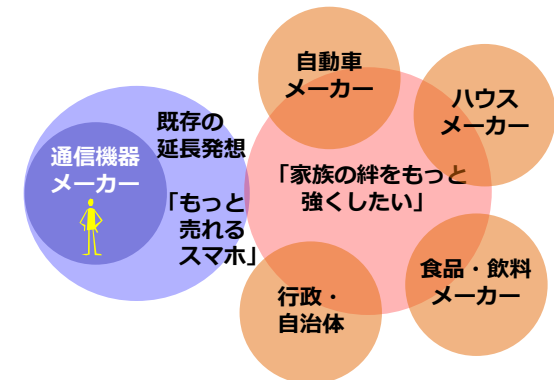


3つのステップ



<オープンセッション>

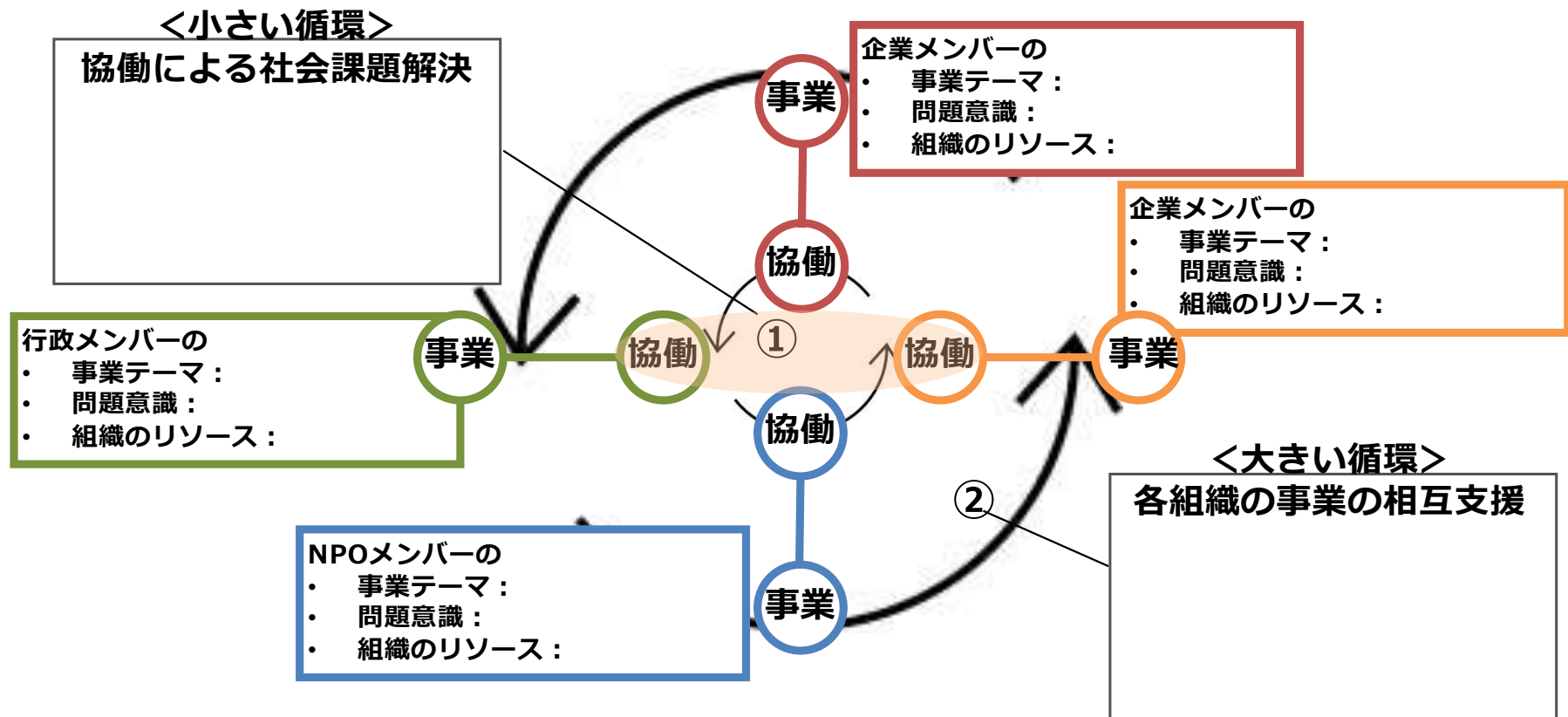
多様なステークホルダーが
「一緒に考えたい!」と思える
「パワフルな問い」を立て、
非当事者が当事者にしていく。



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

実装＝街中でプロトタイピング「まずはやってみる」

- ① クロスセクターの協働で、社会課題解決を行う（小さい循環）
- ② これを持続的にするために、各々の事業を相互支援する（大きい循環）



【具体事例 1】

長年課題だった街の落書き問題を企業と行政がコラボレーションし、「楽しく解決」
民間主体で「事業」としてプロジェクトを推進。一般社団法人も設立。
区のバックアップを得て、どんどん活動の輪を拡大中。

【メンバー】

ちがいを
ちからに
変える街。



丸山 陽子

東急不動産

伊藤 秀俊



傍嶋 賢

恵比寿
新聞
EBISU
JOURNAL

高橋 ケンジ



室井 泰葉

BEAMS

中村 尚史



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

【具体事例 2】

2020年4月～の緊急事態宣言下、集客に苦しむ区内全域の飲食店のテイクアウトとデリバリーが可能な店舗一覧のマップをコミュニティベースで作成。（<https://oishibuya.com/>）

【メンバー(一部抜粋)】



乾杯を
もっとおいしく。



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

＜洞察＞

- ・大事にしているのは、アイデアの質 < 関係性の質
関係性の質がアイデアの量・質や実行性に比例する。
- ・イノベーター人財は、一人だけで育てることはできない
イノベーター人財は、ネットワークとして育つ
 - ・ネットワークの参加者の質（志の高さ）
 - ・ネットワークの多様性（異分野、異文化、他セクター）
 - ・ネットワークの凝縮性（地域を限定する）
 - ・ネットワークの自発性（参加ではなく、主体者）



メディア掲載

Forbes Japan

ディレクターの加生が

「渋谷区から始めるコレクティブ・インパクト」を連載中。

<https://forbesjapan.com/author/detail/1585>



- 「社会を良くする」は大きすぎる 渋谷を変えるプロジェクト誕生秘話
- 渋谷の「落書き問題」 解決の突破口はオープンセッションにあった
- 服でボランティアのイメージを変える——渋谷xビームス社員の挑戦
- 「官民連携」がうまくいかない理由と打開のための3つのヒント
- 助成や寄付のイメージを超える。まちづくりにおけるNPOの可能性
- 渋谷の成功をナゴヤにも。「つなげる30人」横展開の舞台裏
- 前例主義を打ち破れ。「つなげる公務員」が地域を動かす
- コロナ禍でつながる渋谷のチカラ コミュニティによる飲食店救済の動き

おしえて！アミタさん

（企業のCSR・環境戦略をご支援する情報ポータルサイト）

代表野村が「スローイノベーションの時代」を連載中

<https://www.amita-oshiete.jp/column/category/series/slow-innovation.php>



- セクター横断の協創が必要とされる時代背景
- 協創が生まれる土壌を地域でつくる



SLOW INNOVATION

Changing systems step by step

Internet Watch

＜プログラムレポート＞

- IT企業が集まる「渋谷」が目指す

20年後の街づくりとは？

<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/1221867.html>



＜集中連載＞

※4期から生まれたプロジェクトを

詳細に取り上げていただきました。



<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/event/1241113.html>

- 古着の活用など、エンターテイメントで社会課題の解決ができる渋谷へ
- 渋谷発のキャリア教育で、子供たちに「未来に立ち向かう力」を
- 渋谷を活かす「マイノリティの働き方支援」、障害者やLGBTQなど多様な人材の活躍を
- 「渋谷の公園」のあるべき姿は？「シブヤ コオエン部」が目指すビジョン
- 渋谷の「困りごと」を広告賞で解決？

開催概要

開催期間（案）：

2021/10月
～2022/3月

開催時間（案）：

平日13:00-17:30
（月1回）

開催場所：

感染状況によって
オンライン開催
する場合があります。

※リアル開催の場合、
区内会議室等での実施

主催



協賛（予定）



参加費

企業枠

55万円（税込）／人

※各社2名まで。2名の場合、割引適用
させていただき、88万円（税込）

スタートアップ（創業5年以内）枠

16.5万円（税込）／人

※2名以上参加ご希望の場合は要ご相談
※5～10枠を想定していますが、最終的
な枠数は申込み状況を見ながら事務局に
て判断させていただきます。

招待枠

10名（無料：自治体、NPO、市民など）

参加してほしい方

企業枠

経営企画、事業企画、人材育成、研究開発、
マーケティングなど、社会課題や
イノベーションに関わる次世代リーダーの方々

招待枠

渋谷区の価値創造にアクティブな
自治体職員、NPO、市民のみなさま



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

スケジュール（予定）

日程			概要
Day1	10/7（木）	13:00-17:30	・ オープニング ・ ファシリテーション研修を通じた相互理解
Day2	11/4（木）	13:00-17:30	・ ファシリテーション研修を通じ「取り組む課題の明確化」と「解決策」の対話
Day3	12/2（木）	13:00-17:30	・ テーマオーナープレゼン ・ チーム形成 ・ オープンセッション準備
Day4 オープンセッション	1月中旬	※プロジェクト毎 開催	オープンセッション開催
Day5	2/3（木）	13:00-17:30	・ オープンセッションの振り返り ・ 事業構想 ・ 社会実験（プロトタイプ）企画立案
社会実験			街なかで社会実験企画実施
Day6	3/17（木）	13:00-17:30	クロージング及び、夜に最終報告会



SLOW INNOVATION
Changing systems step by step

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

- 原則、オンラインでのセッション進行を行いますが、状況を見ながらリアルでの開催も検討していきます。
- リアルでのセッション時は密を避け、マスク着用の徹底、消毒液の用意、検温実施、換気実施等、出来る対策を講じます。
- 2020年度は、約8割のセッションをオンラインにて開催しました。



代表者 紹介



野村 恭彦, 博士 (工学)

- ・ Slow Innovation株式会社 創業者
- ・ 株式会社フューチャーセッションズ 創業者
- ・ 金沢工業大学 (KIT虎ノ門大学院) 教授
- ・ 国際大学GLOCOM 主幹研究員
- ・ 渋谷未来デザイン フューチャーデザイナー
- ・ 日本ナレッジ・マネジメント学会 理事
- ・ 日本ファシリテーション協会 フェロー
- ・ 著書に「フューチャーセンターをつくろう」「イノベーション・ファシリテーター」など、監訳に「コミュニティ・オブ・プラクティス」、「ゲームストーミング」、「コネクト」、「シナリオ・プランニング——未来を描き、創造する」など多数

2012年 フューチャーセッションズ起業
大企業を顧客に、行政・NPOと
社会イノベーションの共創

2015年 地域プラットフォーム事業発足
長谷部 渋谷区長への協力がきっかけで、
地域イノベーションを本格始動

今

2019年10月 Slow Innovation発足
京都市と渋谷区を中心に、全国の地域から
イノベーションを推進することに専念

渋谷区での実績

- ・ 「渋谷区かもづくりフューチャーセッション」でのメインファシリテーター (2015年～2017年)
- ・ 「渋谷をつなげる30人」主宰 (2016年度～2019年)
- ・ 「ササハタハツまちづくりフューチャーセッション」でのメインファシリテーター (2017年～2019年)

京都市での実績

- ・ 京都市未来100人委員会成果発表会 ゲスト (2015年～2016年)
- ・ 市民協働ファシリテーター研修 (2017年～2019年)
- ・ X Cross Sector Kyotoキックオフ メインゲスト (2019年)
- ・ 「京都をつなげる30人」 (2019年10月末 開始予定)

他地域での実績

- ・ 札幌市 商店街活性化プロジェクトのメインファシリテーター (2014年)
- ・ 相模原市 公民連携ファシリテーター研修 (2017年～2019年)
- ・ Yahoo!地方創生フォーラムでのメインファシリテーター (2017年～2019年)
- ・ 万博誘致委員会 SDGs共創イノベーションでのメインファシリテーター (2017年～2018年)



SLOW INNOVATION

Changing systems step by step